

世界に富める国と貧しい国が存在している理由を考察する以下の課題文を読んで、第1問及び第2問に答えなさい。

第1問（配点：60点）

課題文の第2章において著者により批判されている各説の内容とそれに対する著者の批判を読みとり、700字以内にまとめなさい。

第2問（配点：40点）

世界に富める国と貧しい国が存在している理由についての著者の見解を説明した上で、あなたの考えを600字程度で論述しなさい。

ロン・アセモグル＝ジェイムズ・A・ロビンソン（著）、鬼澤忍（訳）『国家はなぜ衰退するのか〔上〕権力・繁栄・貧困の起源』（早川書房、2016年）89－93頁、104－129頁。出題との関係で、必要な省略、変更又は補足を施している。